

退任のあいさつ

森脇 武夫



令和5年6月24日の総会をもって会長職を退任させていただきました。令和元年の会長就任以来4年間、皆様方から厚いご支援をいただき、大変ありがとうございました。今後は藤原章正新会長のもと、広島大学土木会がますます発展することをお祈り申し上げます。

4年前の会長就任時は予想もしていなかった新型コロナウイルス感染症の発生・拡大に伴って、土木会の活動も大きく影響を受けました。対面での行事は中止せざるを得なくなり、令和2年度の土木技術シンポジウムと土木工学サロンは中止し、総会は書面会議で行うこととなりました。また、学生もアルバイトができない等の事情で困窮する者が出るのではないかとの懸念もありましたが、広島市役所のOB会からの寄付をきっかけに、令和2年度から広島大学土木会奨学生制度を作り、夢をあきらめることなく優秀な土木技術者となってもらえるようにしてまいりました。また、これ以外にも技術士一次試験の優秀合格者を表彰する制度も作り、学生支援を充実してまいりました。

一方、卒業生の皆様向けの事業は中止せざるを得ないものが多く、大変ご迷惑をお掛けしました。令和2年度途中から一部の事業についてはWeb会議システムを利用して開催し、令和3年度と4年度の土木技術シンポジウム、総会、土木工学サロンについてもWeb会議システムを利用して開催しました。距離的理由や健康的理由から今まで参加することができなかった方も参加できるというメリットの発見はありましたが、やはり対面で行うことの重要性も認識されました。令和4年度からは対面とWeb会議システムを組み合わせたハイブリッド方式で一部の事業は行っております。状況に応じてそれぞれの方法でご参加いただければ幸いです。

今年に入り、新型コロナの感染状況も低下し、季節性インフルエンザと同じ5類の感染症に分類され、新たなステージに移行しつつあるようです。それに伴って土木会の事業も従来通り再開するもの、形を変えて再開するもの、新たに立ち上げるものなどがあります。これから本格的に始まるアフターコロナ社会における新しい同窓会の活動についても藤原新会長のもとで模索して、広島大学土木会の結びつきがより強まるようにしていただければと思います。さらに、最近登場した生成AIの土木業界での活用、ウクライナをはじめとする緊迫する国際問題、土木業界における働き手不足と土木業界への進路を希望しない学生が増えている状況など様々な問題もありますが、広島大学土木会の益々の発展と会員皆様方のご健勝を祈念して退任のあいさつとさせていただきます。長い間、ありがとうございました。